

## 令和3年度瀬戸市総合防災訓練の各連区訓練基本方針（縮小版）

令和3年度瀬戸市総合防災訓練では、次に示す訓練とその評価基準に留意し、各連区で訓練の企画検討をしてください。

### 1 訓練想定

南海トラフ地震の発災直後を想定した訓練を行います。

- ※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、「3密」とならないような訓練構成とします。訓練前の体温測定、訓練中のマスク着用等感染予防対策をお願いいたします。

### 2 各連区で取り組んでいただくこと

#### (1) おうち防災訓練

南海トラフ地震の発生に備え、各家庭で命を守る行動を行う。

##### ア シェイクアウト訓練

地震があったことを想定して、シェイクアウトの行動（「姿勢を低く」「頭を守り」「じっとする」）を行いましょう。

##### イ 二次災害の防止

地震による揺れがおさまったら二次災害を避けるため、ガスの元栓を締め、分電盤のブレーカーを切りましょう。（訓練では指差し確認のみで構いません。）

##### ウ 安否札の掲出

近所の方へ世帯の無事を示すことを目的とし、玄関等の外から見える部分に掲げられるようにしたものが「安否札」です。各連区等で整備した玄関のドアノブにかけられる「安否札」の他、タオルや市指定可燃用ごみ袋などを用いて、各世帯の安否確認を実施してください。

##### エ 非常持出袋と備蓄品の確認

避難する際に持ち出す非常持出袋の中身と備蓄品を確認しましょう。

##### オ ハザードマップの確認

ハザードマップで自宅や周辺の危険度を確認しましょう。

##### カ 避難先の検討

指定避難所の他に、在宅避難、親戚や友人宅への避難等、多様な避難を検討しましょう。

- ※ 訓練開始の合図は「瀬戸市安全安心情報メール」や「RADIO SANQ (FM84.5MHz)」「グリーンシティケーブルテレビ」にて一斉配信又は放送されます。

なお、事前に瀬戸市安全安心情報メールに登録を行ってください。

## (2) 安否確認

おうち防災訓練で掲出された「安否札」を各組ごとや町内会単位で確認、集計を行い、「安否札」が掲出されていない世帯を要救助世帯と想定した訓練を実施しましょう。集計後は市へ報告する「情報伝達訓練」を行う。

※ 安否確認について、「安否札を掲出していない世帯（要救助世帯）の安否確認」を行うことが望ましいですが、新型コロナウイルス感染症の影響下では「安否札を掲出していない世帯（要救助世帯）の確認」までは実施が困難のため、「安否札を掲出している世帯数の集計（人数の把握については可能な限り）」を行うこととします。

## 3 地域防災訓練評価基準

各連区で行われる訓練について、全連区一律の評価基準を設け評価を行います。

評価基準	備考
<安否確認> ・安否札を用いた安否確認ができたか	各連区等で整備した「安否札」で訓練を実施してください。

## 4 その他

訓練で新型コロナウイルス感染者が発生した場合であっても、「瀬戸市市民活動災害補償制度」は適用できません。感染予防対策の徹底にご協力ください。